

4-13 GPSによる初島－川奈間の地殻変動連続観測

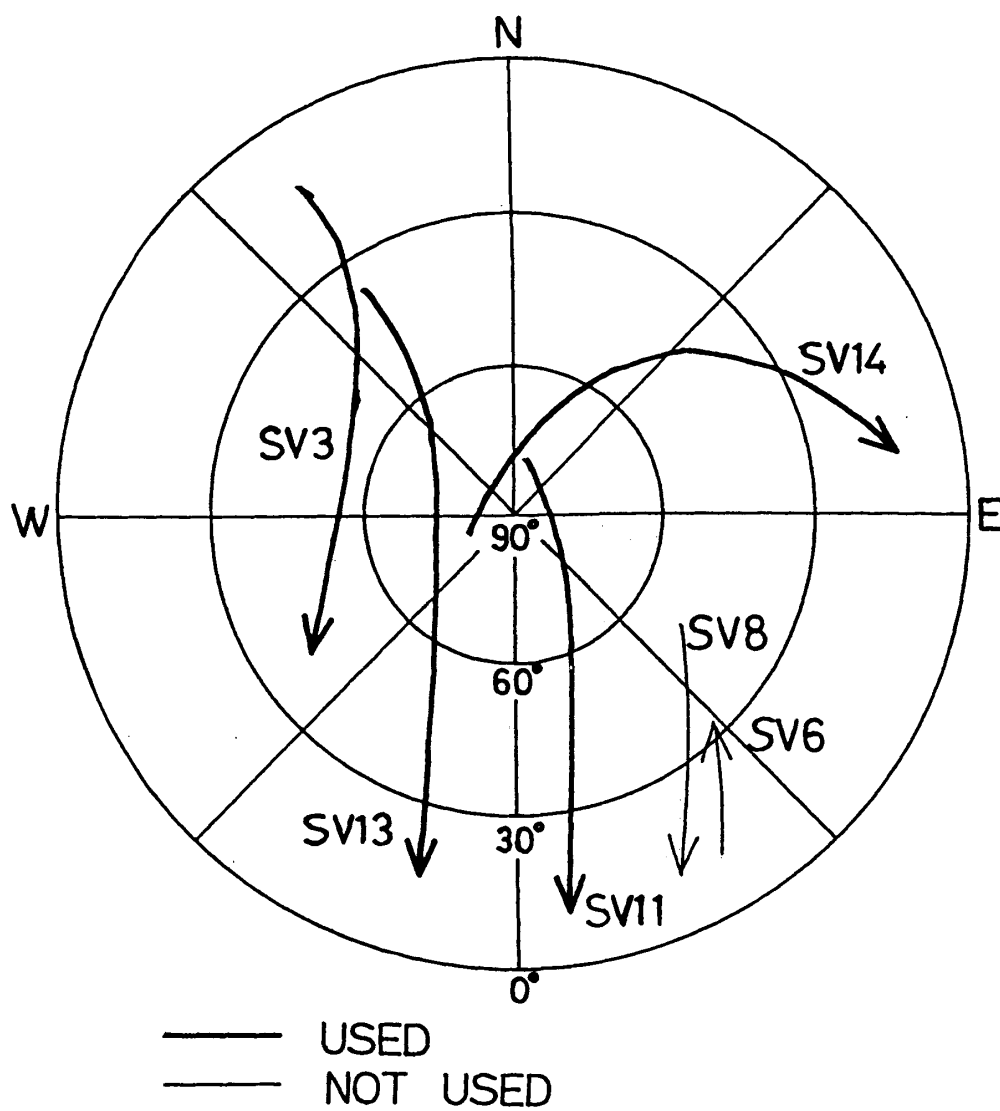
GPS Measurement of a Baseline Vector between Hatsushima and Kawana

国立防災科学技術センター

National Research Center for Disaster Prevention

初島－川奈間においてGPSによる地殻変動連続観測を行なった。観測時間は毎日4時間、サンプリング間隔は30秒である。その間の衛星配置を第1図に示す。SV8及びSV6を除く4衛星を用いた。衛星軌道情報は放送暦を使用した。解析結果を第2図に示す。7月4日から11日の間に、川奈観測点(ITO)は初島(HTS)からみて相対的に南南西、上方向に移動し距離は離れている。その前後の期間には、はっきりした地殻変動は認められない。

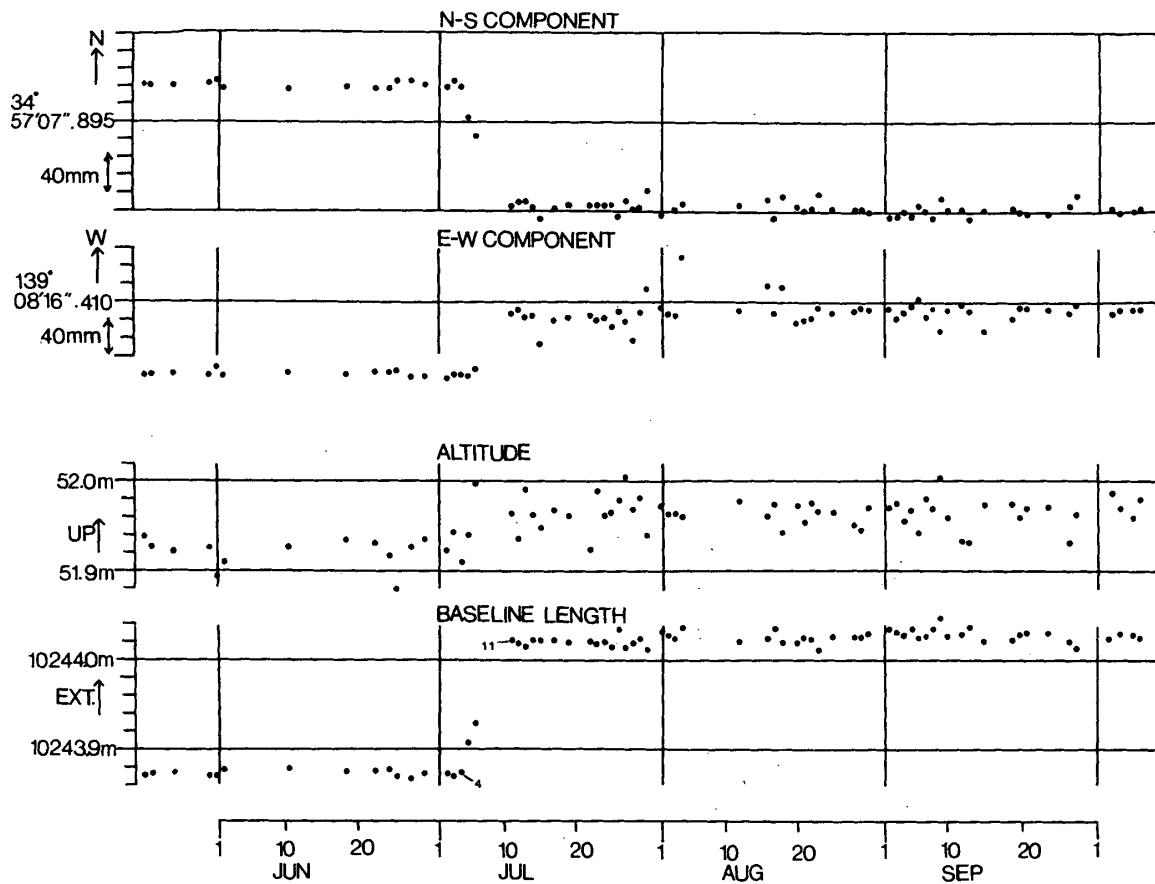
(関口渉次・大見士朗・藤縄幸雄)



第1図 衛星配置 解析には太線で示した衛星のみを用いた。

Fig. 1 Sky plots of satellite visibility during a tracking session. 4 satellites indicated by bold lines, are used in the analysis.

ITO POSITION RELATIVE TO HTS



第 2 図 初島観測点 (H T S) を固定点にしたときの川奈観測点 (I T O) の位置
上から, 南北成分, 東西成分, 上下成分, 基線長を示す。

Fig. 2 Time variations of the position of Kawana (ITO) site relative to Hatsushima (HTS) site. Latitudinal, longitudinal and vertical components of ITO and the baseline length are shown.